



第1回福岡県循環器病対策推進会議 (令和5年5月29日)

資料2

福岡県脳卒中・心疾患等総合支援 モデル事業報告

国立病院機構 九州医療センター 副院長、脳血管・神経内科
公益社団法人日本脳卒中協会福岡県支部長

演者は日本脳卒中学会にCOIを開示しています。
本演題に関するCOIはありません。

福岡県循環器病対策推進協議会委員
岡田 靖

福岡県循環器病対策推進協議会

 福岡県

循環器病（脳卒中・心臓病など）患者をはじめ、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指して

2022→2023

令和4年度 令和5年度



福岡県循環器病対策推進計画

-  脳卒中
-  循環器
-  医師会
-  看護
-  メディカル
-  救急隊
-  患者代表

令和3年度 福岡県循環器病対策推進協議会 委員名簿

五十音順

委員	所属・職名
石橋 薫	福岡県看護協会 専務理事
市原 礼子	福岡療友会 会長
井上 亨	福岡大学病院 医学部脳神経外科 教授
大部 正代	福岡県栄養士会 会長
岡田 靖	九州医療センター 副院長
神村 英利	福岡県薬剤師会 副会長
北園 孝成	九州大学大学院 医学研究院 病態機能内科学 教授
江田 果瑠奈	全国心臓病の子どもを守る会福岡県支部 (心臓病者友の会)
佐伯 覚	産業医科大学 医学部リハビリテーション医学講座 教授
四島 弘	福岡市消防局 警防部救急課 課長
津田 勝則	福岡県歯科医師会 副会長
筒井 裕之	九州大学大学院医学研究院 循環器内科学 教授
長柄 均	福岡県医師会 副会長
西村 陽介	産業医科大学医学部 心臓血管外科学 教授
福本 義弘	久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 教授
横倉 義典	福岡県医師会 理事

がん感染症疾病対策課 - 福岡県庁ホームページより
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/4400227/>

令和4年3月現在

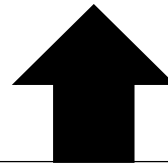
3 協議事項

(2) 令和4年度事業計画について

- 「福岡県循環器病対策推進計画」を令和4年3月に策定。
- 国の基本計画を踏まえ、以下に掲げる基本施策に取り組むことにより全体目標の達成を目指すこととしている。

全体目標

「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」及び「循環器病の年齢調整死亡率の減少」



基本施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の構築

3 多職種連携による循環器病患者への支援の充実

3 協議事項

(2) 令和4年度事業計画について

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

個別施策	事業概要	令和4年度事業計画
○基礎疾患の管理及び予防の推進	望ましい生活習慣や基礎疾患の管理の重要性に関する普及啓発、保険者等と連携した生活習慣病の予防や改善に係る取組を推進する。	「健（検）診受診率の向上」「食生活の改善」「運動習慣の定着」を取組の柱とする「ふくおか健康づくり県民運動」を実施
○知識の普及啓発	県民に対する循環器病の前兆等について周知を行う	循環器病に関する県民公開講座の開催（特徴的な症状や非常時の対処法、生活習慣病との関係性など） ※脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業を活用

3 協議事項

(2) 令和4年度事業計画について

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の構築

個別施策	事業概要	令和4年度事業計画
○病院前救護体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務高度化推進事業 県民に対する自動体外式除細動器(AED)の普及啓発を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務メディカルコントロール協会において県内の救急業務の充実強化を図る AEDの設置及び救急法等講習会の実施 救急救命士を対象とした研修会の実施 ※脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業を活用
○移行医療体制の整備	<p>小児期と成人期の診療科間の連携を図り、必要な医療を切れ目なく受けられるよう移行医療支援、療養生活に係る情報提供・相談支援の在り方について検討を行う。</p>	<p>小児慢性特定疾病患者の医療費受給者証の更新手続の際に、移行期に関するアンケートを同封し、県内の移行期医療の現状及びニーズについて調査を実施</p>

3 協議事項

(2) 令和4年度事業計画について

3 多職種連携による循環器病患者への支援の充実

個別施策	事業概要	令和4年度事業計画
○情報提供支援	患者や家族が利用できる制度などの情報提供を行う。	ホームページ及び動画作成など ※脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業を活用
○相談支援体制の構築	循環器病患者やその家族が病期に応じて生じる身体的・精神的・社会的な悩み等について、医療機関や患者団体等の機関相互の連携を推進する。	循環器病患者やその家族の相談支援窓口の設置 (生活上の注意点や療養場所、後遺症、仕事と治療の両立に係る相談など) ※脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業を活用

4 報告事項

(1) 脳卒中・心臓病等総合支援センター モデル事業について

福岡県では九州医療センターが、令和4年度の 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業を担当

脳卒中・心臓病等総合支援センター(Comprehensive Support Center for
Stroke and Heart Disease Patients) ⇨

脳卒中・心臓病等総合支援センター⇨

ご相談を希望される方は[こちら](#)をご覧ください。⇨

脳卒中・心臓病等総合支援センターは、大きく分けて以下の3点をその業務の目的に掲げています。⇨

- (1)脳卒中および心臓病に関する相談↓
- (2)セカンドオピニオン外来↓
- (3)脳卒中および心臓病に関する情報の発信↓

さらに当院の対応の特徴として、医師のみではなく、脳卒中療養相談士、心不全療養指導士などの資格を有する看護、薬剤師、地域連携室の医療福祉相談員等のメディカルスタッフ、医療・福祉関連の専門スタッフを配置し、充実した体制をとっております。↓

したがって、併発する疾患を初めとした直接的な脳卒中および心臓病の診断治療に関するご相談以外にも、薬剤や看護、リハビリテーション、食事内容から保険制度等まで、広範囲のご相談にお応えいたします。⇨

脳卒中・心臓病等総合支援センター 開設のご案内

脳卒中・心臓病等総合支援センター開設について

厚生労働省の令和4年度事業として全国10都道府県（福岡県では九州医療センター）に脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。

九州医療センターでは福岡県の循環器病対策推進計画と連携して本事業を推進します。

事業の主な内容は脳卒中、心臓病等の患者さんに対する患者相談窓口の設置、福岡県民を対象とした研修会、かかりつけ医と医療従事者に向けた研修会の実施、啓発資材の開発などです。



相談窓口について

相談無料

患者相談窓口では**医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー、脳卒中・心臓病等担当看護師**が、脳卒中や心臓病等と診断された患者さんとご家族の**生活上の注意点、療養場所、後遺症や仕事と治療のことなど**、様々な疑問や不安に対し、お話しを聞かせていただき、悩みに応じた解決策を一緒に考えていく支援を行っています。

受付時間 ▶ 平日9:00～16:00（予約制）
TEL：092-836-5003

対応窓口 ▶ 地域連携室看護師
※入院中の方は病棟看護師



独立行政法人 国立病院機構九州医療センター

〒810-8563
福岡市中央区地行浜1丁目8番1号

2022. 8. 22より入院患者対象に運用開始
2022. 9. 26よりホームページで公開
県庁でも広報を開始

脳卒中・心臓病等総合支援センタープロジェクトチーム

1 院長	
2 副院長	統括責任者
3 統括診療部長	
4 脳血管センター部長	脳卒中代表医師
5 循環器センター部長	循環器代表医師
6 救命救急部長	
7 リハビリテーション科医長	
8 MCセンター副センター長	医療総合支援
9 循環器科医長	
10 看護部長	看護部統括者
11 副看護部長	看護部副統括者

12 病棟師長	脳血管センター
13 病棟師長	循環器センター
14 地域医療連携室師長	
15 地域医療連携室副師長	相談窓口担当
16 栄養管理室長	食事・栄養
17 副薬剤部長	薬剤
18 理学療法士長	リハビリテーション
19 医療社会事業専門員	医療制度・費用相談
20 医療社会事業専門員	医療制度・費用相談
21 事務部長	事務部統括者
22 経営企画室長	医事部門統括者
23 庶務班長	管理部門担当

- 医師 ■ 看護師 ■ メディカル
■ 医療ソーシャルワーカー ■ 事務部

プロジェクトチームの会議は毎月第一月曜日16:30-17:20

1. 相談事業: 受付に関するシステム作り 相談内容の収集と分析
2. 研修事業: 研修の企画、関係者への依頼、案内作り
かかりつけ医、保健師、薬剤師、リハビリテーションスタッフなど
3. 市民講座: 日本脳卒中協会、日本循環器学会との連携
4. 資材開発: 脳卒中協会動画の活用、県独自の資材開発など

相談リーフレットの作成

脳卒中・心臓病等
総合支援センターでは

脳卒中や心臓病等と診断された患者さんとご家族の様々な疑問や不安に対し、脳卒中・心臓病等に関する担当者がお話しを聞かせていただき、悩みに応じた解決策を一緒に考えていく支援を行っています。

医師
薬剤師
管理栄養士
理学療法士
医療ソーシャルワーカー

脳卒中・心臓病等担当看護師

- ◆心不全療養指導士
- ◆脳卒中療養相談士

〒810-8563
福岡市中央区地行浜1丁目8番1号



独立行政法人国立病院機構
九州医療センター

TEL 092-852-0700 (代表)



独立行政法人国立病院機構
九州医療センター

脳卒中・心臓病等
総合支援センター



相談・受付時間：

平日9:00～16:00

(予約制)

相談対応窓口：地域連携室看護師
入院中の方は病棟看護師

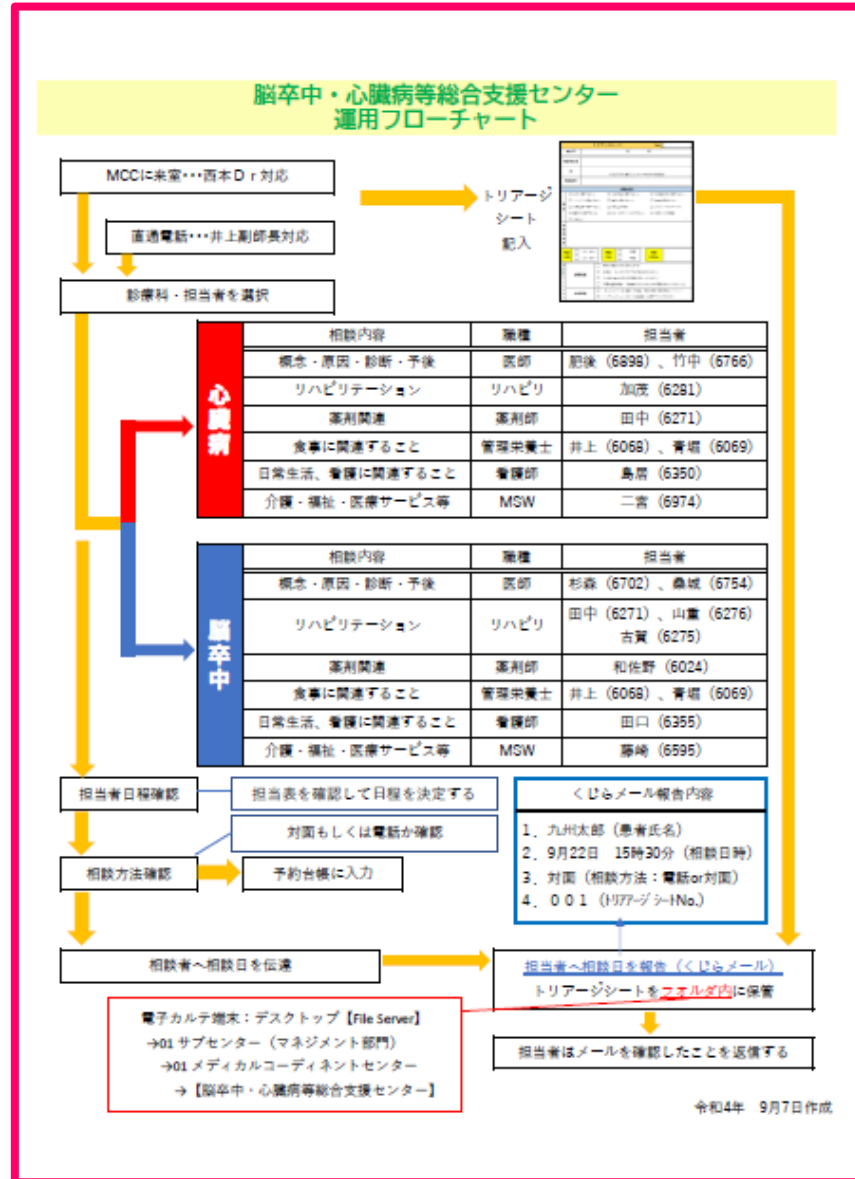
九州医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター 2022年9月

九州医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センタープロジェクトチーム委員会資料、2022年9月

モデル事業 相談トリアージと運用フローチャート

トリアージシート		No.
受付日	月 日	
相談者氏名	ID	※当院受診歴がありIDがある場合
電話番号		
他院入院中の確認	<input type="checkbox"/> 入院中	<input type="checkbox"/> 入院していない
相談内容		
項目	<input type="checkbox"/> 疾患に関すること <input type="checkbox"/> 治療方法に関すること <input type="checkbox"/> 急変時対応に関すること <input type="checkbox"/> リハビリに関すること <input type="checkbox"/> 薬剤に関すること <input type="checkbox"/> 食事に関すること <input type="checkbox"/> 日常生活に関すること <input type="checkbox"/> 療養上の相談 <input type="checkbox"/> セカンドオピニオン <input type="checkbox"/> 医療費に関すること <input type="checkbox"/> 福祉・医療サービスに関すること <input type="checkbox"/> 就学・就労関連 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	具体的内容	
相談日時	<input type="checkbox"/> 15:00~ <input type="checkbox"/> 15:30~	相談方法 <input type="checkbox"/> 対面 <input type="checkbox"/> 電話
相談対応者		
受付者チェックリスト	<input type="checkbox"/> 原則1相談につき30分とする <input type="checkbox"/> 来院後、多少お待ちさせる可能性があること <input type="checkbox"/> 駐車場代金は外来診療同様の扱いとなること <input type="checkbox"/> 電話希望の場合：予定時刻にこちらからお電話させていただくこと	
	共有業務 <input type="checkbox"/> 【くじらメール】発信：患者名・相談日時・相談方法・シートナンバー <input type="checkbox"/> トリアージシート保存（写真撮影・専用フォルダに保存）	

令和4年 9月7日作成



地域連携室担当看護師が窓口となり電話対応
予約相談日を決定

トリアージおよびフローチャートで担当者、

脳卒中・心臓病総合支援センター

R4年度 相談対応実績

相談窓口について

- 対象 脳卒中や心臓病等と診断された患者さん
とご家族
- 相談は無料
- 予約制（相談時間は約20分間）
- 予約対応時間 平日9：00～16：00
- 専用電話 092-836-5003（直通）
- 相談対応者：医師、薬剤師、管理栄養士、
リハビリテーションスタッフ、
医療ソーシャルワーカー
心不全療養指導士・脳卒中療養相談士
- 相談内容：治療や後遺症について、
生活上の注意点 など

脳卒中・心臓病等総合支援センター 開設のご案内

脳卒中・心臓病等総合支援センター開設について

厚生労働省の令和4年度事業として全国10都道府県（福岡県では九州医療センター）に脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。

九州医療センターでは福岡県の循環器病対策推進計画と連携して本事業を推進します。

事業の主な内容は脳卒中、心臓病等の患者さんに対する患者相談窓口の設置、福岡県民を対象とした研修会、かかりつけ医と医療従事者に向けた研修会の実施、啓発資料の開発などです。



相談窓口について

相談無料

患者相談窓口では医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー、脳卒中・心臓病等担当看護師が、脳卒中や心臓病等と診断された患者さんご家族の生活上の注意点、療養場所、後遺症や仕事と治療のことなど、様々な疑問や不安に対し、お話を聞かせていただき、悩みに応じた解決策を一緒に考えていく支援を行っています。

受付時間

平日9:00～16:00（予約制）
TEL：092-836-5003

対応窓口

地域連携室看護師
※入院中の方は病棟看護師



独立行政法人 国立病院機構九州医療センター

〒810-8563
福岡市中央区地行浜1丁目8番1号



1. 相談件数

合計 173人

脳卒中—84人

院内対応—67人

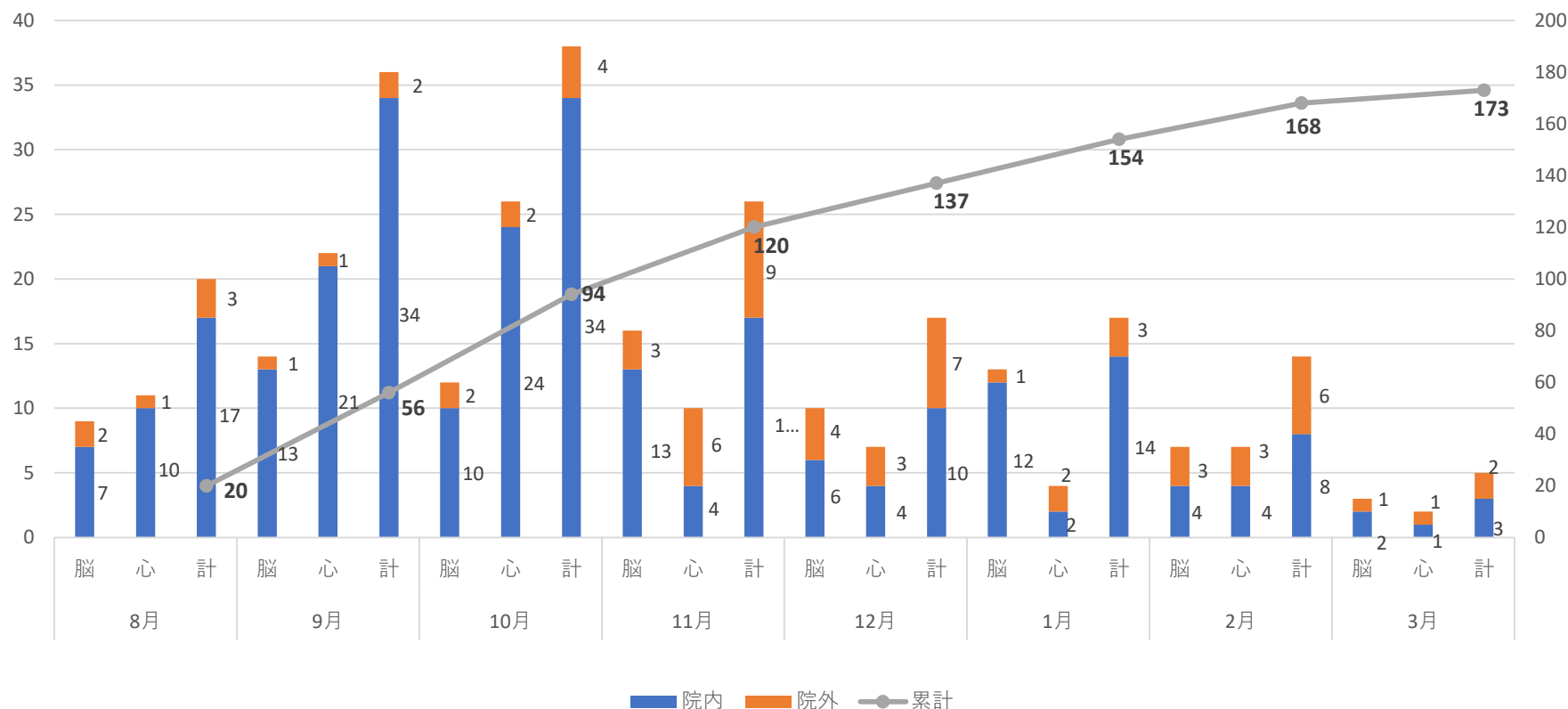
院外対応—17人

心臓病—89人

院内対応—71人

院外対応—19人

2. 相談者累計人数の推移



相談実績の173件のうち、広報して開始した最初の3カ月が最も多く、12月以降の院内患者への働きかけが少ないことが反省点である。

3. 相談内容

	脳卒中		心臓病		合計	
	件数	割合	件数	割合	合計	割合
セカンドオピニオン	5	4%	2	2%	7	3%
医療内容(検査)	3	2%	3	3%	6	2%
医療内容(薬)	7	5%	4	3%	11	4%
医療内容(手術)	4	3%	1	1%	5	2%
医療内容(リハビリテーション)	16	11%	6	5%	22	8%
医療内容(看護)	7	5%	7	6%	14	5%
後遺症の対応	7	5%	1	1%	8	3%
転院	12	8%	6	5%	18	7%
医療機関の紹介	7	5%	3	3%	10	4%
予防や検診	6	4%	4	3%	10	4%
緩和ケア	1	1%	1	1%	2	1%
食事、入浴など日常生活動作	19	13%	43	34%	62	24%
医療費、介護保険、手当	19	13%	11	9%	30	11%
生きがい、価値観	2	1%	0	0%	2	2%
不安、精神的苦痛	22	16%	7	6%	29	11%
患者家族のコミュニケーション	2	1%	9	8%	11	4%
グリーフケア	0	0%	3	3%	3	1%
医療機関への不満(自院)	1	1%	0	0%	1	0%
医療機関への不満(他院)	1	1%	3	3%	4	2%
その他	1	1%	5	4%	6	2%
合計	142	100%	119	98%	261	100%

※相談者1人につき複数の相談内容があるため、相談人数より多くなる

脳卒中

1. 不安、精神的苦痛
2. 医療費、介護保険、手当
3. 食事、入浴など日常生活動作

心臓病

1. 食事、入浴など日常生活動作
2. 医療費、介護保険、手当
3. 患者家族のコミュニケーション

相談内容は脳では、医療費/介護保険/手当についてが多く、ついで不安/精神的苦痛、食事/入浴などADL、転院、リハビリテーションの順であった

4. 対応内容

	脳卒中		心臓病		合計	
	件数	割合	件数	割合	合計	割合
傾聴、支援的内容	49	34%	24	20%	73	28%
助言提案	68	47%	73	58%	141	53%
情報提供(動画以外)	8	6%	7	6%	15	6%
脳卒中患者向け動画	0	0%	0	0%	0	0%
動画第何部？	0	0%	1	1%	1	0%
医療施設受診の説明(自院)	7	5%	1	1%	8	3%
医療施設受診の説明(他院)	2	1%	5	4%	7	3%
他施設・機関への連携	8	6%	8	7%	16	6%
ピアサポートの紹介	0	0%	1	1%	1	0%
苦情・要望の対応	1	1%	0	0%	1	0%
その他	0	0%	2	2%	2	1%
合計	143	100%	122	100%	265	100%

※相談者1人につき複数の対応内容があるため、相談人数より多くなる

脳卒中

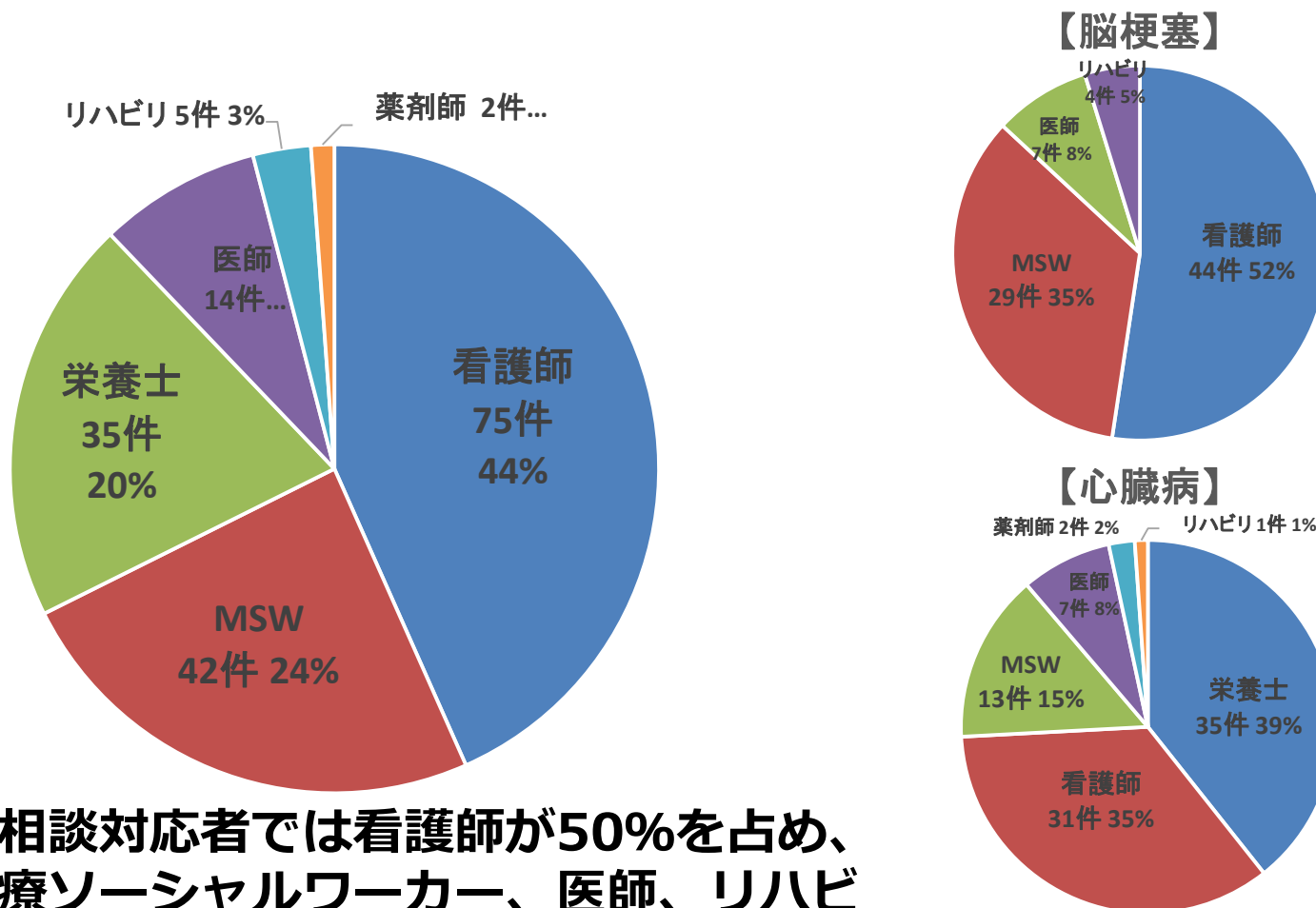
1. 助言提案
2. 傾聴、支援的内容
3. 情報提供(動画以外)

心臓病

1. 助言提案
2. 傾聴、支援的内容
3. 他施設・機関への連携

相談対応の内容では助言提案が約半数で傾聴、支援的内容、情報提供、医療施設受診の説明、他施設・期間への連携などが多かった。

5. 対応職種



脳卒中の相談対応者では看護師が50%を占め、
ついで医療ソーシャルワーカー、医師、リハビリ
リスタッフの順であった

モデル事業 救急救命士に対する講習会

令和4年10月21日

日本脳卒中協会と共催で福岡県内各消防本部に連絡の上、県内救急救命士にPSLS講習会（講義・実習）を実施


第15回福岡県PSLS講習会		
PSLS: Prehospital Stroke Life Support (病院前脳卒中救護)		
令和4年10月21日(金曜日)、九州医療センター講堂		
主催：(社)日本脳卒中協会福岡県支部、国立病院機構九州医療センター		
(令和4年度厚生労働省補助金「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」)		
後援：日本臨床救急医学会、福岡県		
13:00～13:10		
1. 開会のあいさつ		
国立病院機構 九州医療センター 南院長		森田 茂樹
13:10～14:50		
2. 講演	司会 九州医療センター 臨床研究推進部長 矢坂 正弘	
①「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」について <20分>	九州医療センター 副院長	岡田 靖
②救急医療の展望と当院の救急 <20分>	九州医療センター 広域災害・救命救急センター長	野田 美一郎
③文脈する脳卒中治療と鑑別すべき救急疾患 <20分>	九州医療センター 脳血管センター 部長	杉森 宏
④血栓回収療法の適応となる脳主幹動脈閉塞患者のみかたと脳血管内治療 <20分>	九州医療センター 脳血管内治療科科長	徳永 聡
⑤脳血管障害に対する脳神経外科手術について <20分>	九州医療センター 脳神経外科部長	西村 中
14:50～15:05 <休憩>		
15:05～15:20		
3. PSLS 脳卒中の見方		
九州医療センター 脳血管センター 部長		杉森 宏
15:20～15:50		
4. PSLS 実演と実習(ACT-FAST, CPSS, 主幹動脈閉塞スケールなど)		
九州医療センター 脳血管・神経内科 医師		森 兵太
15:50～16:00		
5. 総括と閉会のあいさつ		
九州医療センター 副院長		岡田 靖

救急救命士参加95名

第15回福岡県PSLS講習会
2022年10月 福岡

令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

福岡県における循環器病対策推進計画
と脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル
事業への取り組み



演者は日本脳卒中学会にCOIを自己申告しています。本演題に関するCOIはありません。

国立病院機構 九州医療センター脳血管・神経内科
公益社団法人日本脳卒中協会 福岡県支部
岡田 靖

第15回福岡県PSLS講習会 2022.10.21

血栓回収療法の適応となる
脳主幹動脈閉塞患者のみかたと脳血管内治療

九州医療センター 脳血管内治療科
徳永 聡

令和5年度第1回 福岡県循環器病対策推進協議会、2023年5月

モデル事業 医療従事者に対する研修

令和4年度 福岡県 脳卒中・心臓病等総合支援センター モデル事業

九州医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター 保健師向け学習会

「シームレスな多職種連携を目指すために知っておきたいこと」
～地域の保健師さんとともに脳卒中・心臓病の患者に寄り添う～

<日 時> 2022年12月12日(月) 18:00～19:00
<場 所> 国立病院機構九州医療センター 研修室(もしくは講堂)
<研修対象> 福岡県内の保健師
<研修形式> 会場とWebのハイブリッド形式
<参加費> 無料

【プログラム】

司会: 心臓血管ハイケアセンター看護部長 島居基久

1. 開会挨拶 九州医療センター院長 森田茂樹
2. 脳卒中・心臓病等総合支援センター相談窓口についての情報提供(5分)
脳血管ハイケアセンター看護部長 田口裕子
3. 疾患講義「心不全はみんなで治療しましょう」(20分) 循環器内科医師 竹中克彦
4. 九州医療センターにおける看護実践～継続看護を充実させる疾病予防、早期発見のポイント～(20分)
 - 1) 脳血管ハイケアセンター 副看護部長 脳卒中療養相談士 木山悟
 - 2) 心臓血管ハイケアセンター 看護師 心不全療養指導士 陣上慶和
5. 事例紹介 九州医療センターにおける地域との連携(10分) 地域医療連携室 MSW 藤崎航介
6. 質疑応答(5分)
7. 閉会挨拶 九州医療センター副院長 岡田 靖

参加ご希望の方は
こちらからお願いします



【お問い合わせ】九州医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター
TEL:092-836-5003(担当:井上)

■主催/独立行政法人国立病院機構 九州医療センター
■後援/福岡県がん感染症対策疾病課

今年度は保健師、かかりつけ医 を対象とした研修会を実施

2022年12月12日 保健師向け学習会

2023年 2月10日 かかりつけ医向け勉強会

保健師参加36名

令和5年度第1回 福岡県循環器病対策推進協議会、2023年5月

モデル事業 医療従事者に対する研修

令和4年度 福岡県 脳卒中・心臓病等総合支援センター モデル事業

九州医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター
福岡県脳卒中・心臓病アライアンスミーティング

「シームレスな病診連携のために知っておきたいこと」
～地域のかかりつけ医とともに脳卒中・心臓病患者に寄り添う～

<日時> 2023年2月10日(金) 18:30～19:30
<場所> 国立病院機構九州医療センター 研修室
<研修対象> 福岡県内の医師
<研修形式> 会場とWebのハイブリッド形式
<参加費> 無料

【プログラム】

司会：九州医療センター統括診療部長 中島 寛彦

- 開会挨拶 九州医療センター院長 森田 茂樹
- 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業についての情報提供 (10分)
九州医療センター副院長 岡田 靖
- シームレスな医療連携を目指して (30分)
 - 急性期病院の取り組みと提案 脳卒中
九州医療センター 脳血管センター部長 杉森 宏
 - 急性期病院の取り組みと提案 心臓病
九州医療センター 循環器センター統括運営部長 肥後 太基
 - かかりつけ医の取り組みと要望
金谷内科クリニック 金谷 英樹
- 服薬情報の共有について 薬業連携の取り組み (10分)
九州医療センター 副薬剤部長 大橋 邦央
- 閉会挨拶 九州医療センター副院長 岡田 靖

【お問い合わせ】九州医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター
TEL:092-836-5003(担当:井上)

■主催/独立行政法人国立病院機構 九州医療センター
■後援/福岡県がん感染症対策推進協議会

今年度は保健師、かかりつけ医 を対象とした研修会および市民 公開講座を企画実施

2022年12月12日 保健師向け学習会

2023年 2月10日 かかりつけ医向け勉強会

かかりつけ医 参加28名
(52名申し込み)

令和5年度第1回 福岡県循環器病対策推進協議会、2023年5月

モデル事業 専門医及び専門医療機関に対する情報発信



第133回日本循環器学会九州地方会
(令和4年12月3日、久留米シティプラザ)

会長企画

「脳卒中と循環器病克服～第一次5か年計画の振り返りと第二次5か年計画の展望」

3. 脳卒中・心臓病等総合支援センター

モデル事業の現況ー脳卒中



心臓病は循環器学会九州地方会で、脳卒中は県内1次脳卒中センター施設に向けたWEB会議を実施

2022年12月 3日 日循九州地方会久留米
福岡県循環器病対策協議会協議内容および
モデル事業の紹介

2022年12月8日 福岡県一次脳卒中センター
WEB会議
福岡県循環器病対策協議会協議内容の紹介、
脳卒中相談窓口の紹介



第2回福岡県脳卒中センター会議
(令和4年12月8日、福岡)

第二次5か年計画から脳卒中学会相談窓口まで

脳卒中・心臓病等総合支援センター

モデル事業と脳卒中相談窓口



令和5年度第1回 福岡県循環器病対策推進協議会、2023年5月

モデル事業 県民に対する公開講座

令和4年度 福岡県脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

福岡県における循環器病対策推進計画
と脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル
事業への取り組み



演者は日本脳卒中学会にCOIを
自己申告しています。
本演題に関するCOIはありません。

国立病院機構 九州医療センター脳血管・神経内科
公益社団法人日本脳卒中協会 福岡県支部
岡田 靖

脳卒中は脳卒中月間(10月)に日本脳卒中
協会HPからWEB講演で情報発信、
心臓病は日本循環器学会総会(福岡)で
AED講習会、
成人先天性心臓病患者会、
人工補助心臓に関する市民公開講座
を共催

2022年10月1日~31日

日本脳卒中協会共催で脳卒中市民公開講座

2023年 3月16日 日循学術集会 福岡市
(JCS2023)
市民公開講座 (共催)

モデル事業 県民に対する公開講座

心臓病は日本循環器学会総会（福岡）で AED講習会、 成人先天性心臓病患者会、 人工補助心臓に関する市民公開講座 を共催

第87回日本循環器学会学術集会
成人先天性心臓病AHD患者会
市民公開講座

心臓病を持って働く

日時 3/12 18:20-14:50 会場 福岡サンパレス2階「平安」

参加費 無料

主催 福岡中・心臓病等総合支援センターモデル事業
協賛 福岡県、福岡市、福岡医師会、福岡中医師会、日本成人先天性心臓病患者会
後援 石川豊起先生（福岡県医師会） 坂本一郎先生（九州大学病院 循環器科）

参加者 50名

「良い交流になった」「また参加したい」という意見が多数
「一般枠で働いている人が少ないことを初めて知った」という意見も
患者同士の情報交換ができた

2023年 3月16日 日循学術集会 福岡市
(JCS2023)
市民公開講座（共催） 3件

患者参加50名

第87回日本循環器学会学術集会
第21回 心肺蘇生法市民公開講座
救急車を呼ぶ?どうする?
~Withコロナの病院の使い方、救急車の使い方~

日時 3/12 13:20~14:50 会場 福岡サンパレス2階「パレスルームB」

参加費 無料

主催 九州成人先天性心臓病等総合支援センターモデル事業
協賛 福岡中・心臓病等総合支援センターモデル事業
後援 福岡県、福岡市、福岡医師会、福岡中医師会、日本成人先天性心臓病患者会

参加者 36名

- 心肺蘇生トレーニングキット（スクーマン）を用いた胸骨圧迫の実習とAED使用についての講習

市民公開講座
「補助人工心臓とともに暮らす」

日時 2023年 3月12日（日）
12:15~13:05（12:00開場）

場所 福岡サンパレス2階「パレスルームA」

参加者 115名
補助人工心臓患者の体験談
補助人工心臓患者やその家族たちの交流も兼ねることができた

補助人工心臓を装着して自宅で生活している方は年々増加しており、徐々に身近な不全治療になってきています。
補助人工心臓をつけた方々がどんな生活を送っているのか、心不全患者さん、地域の皆様、そして医療従事者の皆様にも知っていただけたら幸いです。

総合司会：九州大学病院「Heartセンター」看護部長 山田 和美
ご挨拶：九州大学病院心臓血管外科教授 塩瀬 明
特別講演：補助人工心臓治療を知っていますか？
一統がりつある重症心不全治療の選択談～
演者：九州心臓センター 肥後 太基
パネルディスカッション：補助人工心臓とともに暮らす
座長：肥後 太基（九州心臓センター）、藤野 剛雄（九州大学病院）
内容：①補助人工心臓を装着し、生活している方からのお話
②医療スタッフを交えたディスカッション

市民参加36名

参加116名

モデル事業 県民に対する広報

2022年9月、 脳卒中・心臓病等総合支援センター 開設の紹介

循環器病 総合相談窓口

国立病院機構「九州医療センター」(福岡市中央区)内に26日、循環器病に関する総合的な相談窓口「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が開設される。厚生労働省の2022年度事業で全国10府県12施設に設置される予定で、県内では初。

九州医療センター

脳卒中や心臓病などの循環器病はがんに次ぐ死亡原因となっており、介護が必要となる主な原因でもある。発症後に心臓・運動機能の低下や後遺症が残る可能性もあり、状況に応じて患者や家族の不安や悩み、専門家が解決策を一緒に考え、求められる支援も変化していく。

支援センターは看護師らに対応する無料の相談窓口(092・8336・500)が、3、月、金曜午前9時〜午後4時)で患者や家族らから

県内初 きょう開設



「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が設置される九州医療センター—九州医療センター提供

スタート！脳卒中相談窓口



NHKきょうの健康ニュース 2023年2月2日NHKエデュケーショナル放映

スタート! 脳卒中相談窓口

脳卒中による死亡者
年間10万人

令和2年度厚生労働省 人口動態調査

後遺症は?

- 運動機能のマヒや感覚機能の低下
- 認知機能障害
- えん下障害
- 排せつ障害 など

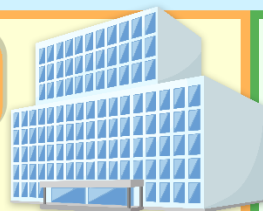


寝たきりの原因

- 1位 脳卒中
- 2位 認知症
- 3位 骨折・転倒

厚生労働省2019年 国民生活基礎調査の概況

脳卒中 相談窓口とは?



- 大学病院や中核病院に設置
- 全国に約250か所
- 現在は無料で利用できる
- 通院や入院している患者さん以外で利用可能な施設も
- 対面または電話
- 事前に電話で予約

脳卒中療養相談士



誤えんしないよう
つぶした食事を
つくっています
しかし 外食では
そのまま
出てきてしまいます
どうしたらよいでしょう?

働いていないと
収入が
なくなってしまうので
平日の
受診が難しいです

飲食店の再開を
目指していましたが
家で転倒して以来
歩きにくくなりました
もう包丁を
持てないのでは
と不安です

スタート！脳卒中相談窓口

相談窓口をはじめてみて思うことは？
これからの課題は？

**こちらが考えていた困りごとと、患者さんの実際の困りごとが
違う場合が多いです。**

病院内で歩いていた人が自宅で転倒したりする。

生活というのは、私たちが思っているよりはるかに複雑で、
難しいことです。

治療やリハビリだけで生活しているわけではありません。

ある程度、障害が残った中で、どう社会参加するか、就労支援
していくか、などが今後の課題です。

専門施設における早急な診断と適切な治療、 患者・家族への説明と相談支援が重要です



発症直後に脳卒中専門施設へ搬送

チーム医療・組織医療※の実践

画像検査, rt-PA・血管内治療へ対応

早急な診断と適切な治療

患者家族への説明と相談支援※※

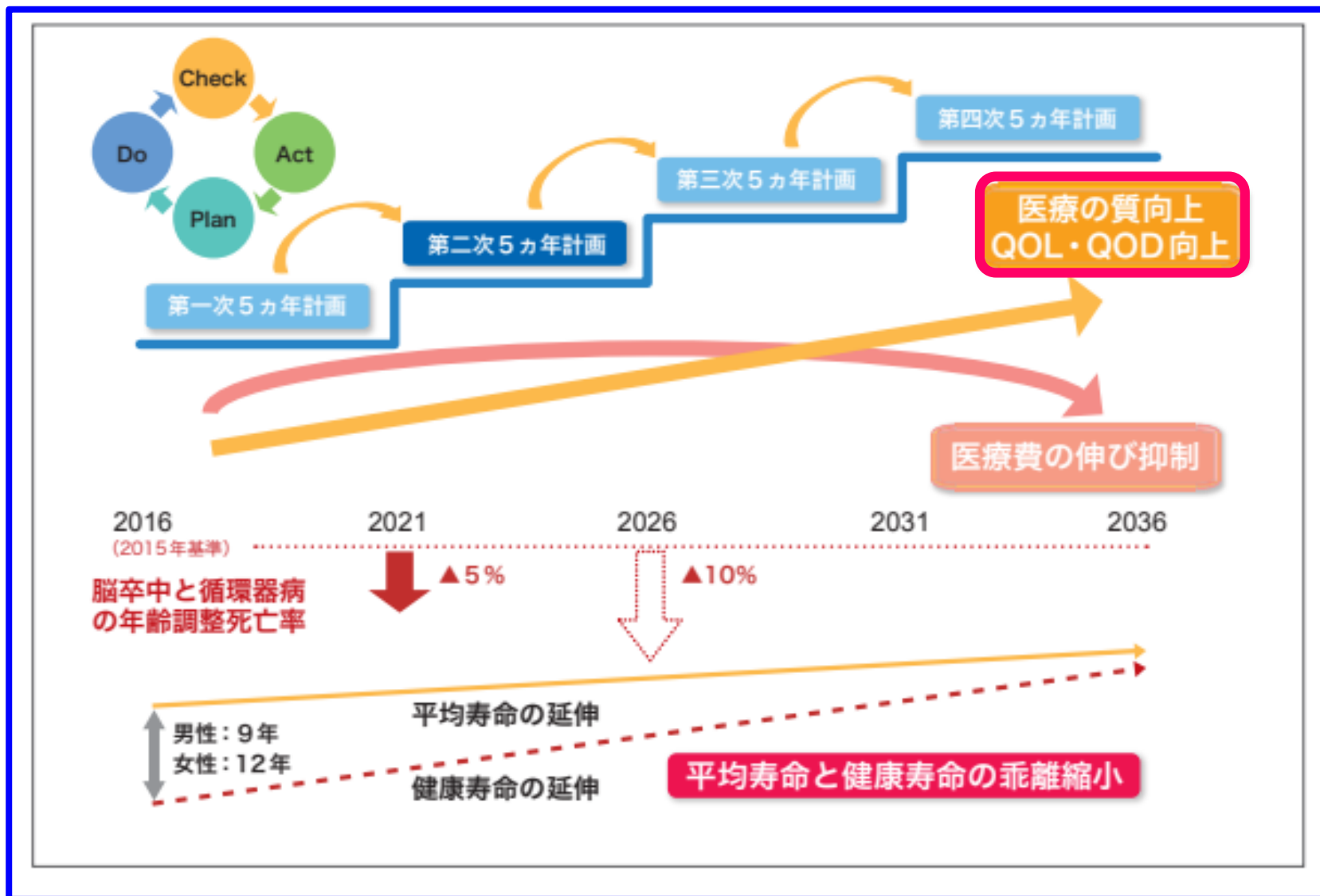
※組織医療とは脳卒中センター組織が理念・使命の実現に向け、価値・行動規範を共有し、適正かつ安全で有効性を最大化する医療のプロセスであり、継続して組織の医療の質を改善していくこと

※※急性期医療施設から患者家族の困りごとや疑問に適切な説明と相談支援を行う体制を構築する

監修：日本脳卒中協会

岡田 靖（国立病院機構九州医療センター）

脳卒中・循環器病5か年計画が目指すもの



脳卒中と循環器病克服第二次5か年計画 ストップCVD（脳心血管病）
健康長寿を達成するために 2021循環器病総合支援センターモデル事業

福岡県循環器病総合支援センター

のご案内

福岡県循環器病総合支援センターについて

脳卒中・心臓病等の循環器病は、がんに次ぐ死亡原因であり、年間1万人以上が死亡しています。また、介護が必要となる主な原因であるとともに医療費に占める割合が最大です。

そのため、県では、県全体の循環器病患者に対する包括的な支援体制を構築するため、令和5年4月から九州医療センター内に「福岡県循環器病総合支援センター」を設置しています。

センターでは、循環器病の予防および重症化予防を図るため、循環器病患者や家族の相談支援や医療従事者を対象とした研修会を開催していますので、是非ご活用ください。



相談窓口について

相談無料

患者相談窓口では医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー、脳卒中・心臓病等担当看護師が、脳卒中や心臓病等と診断された患者さんご家族の生活上の注意点、療養場所、後遺症や仕事と治療のことなど、様々な疑問や不安に対し、お話しを聞かせていただき、悩みに応じた解決策と一緒に考えていく支援を行っています。

受付時間

平日9:00~16:00 (予約制)
TEL : 092-836-5003



対応窓口

独立行政法人国立病院機構
九州医療センター 地域連携室
(〒810-8563 福岡市中央区地行浜1丁目8番1号)



福岡県保健医療介護部健康増進課



独立行政法人
国立病院機構九州医療センター

R5.4.9(A) 西日本新聞

循環器病相談窓口を継続

県が総合支援センター開設

県は新年度、福岡市中央区の九州医療センターに循環器病に関する総合相談窓口「県循環器病総合支援センター」を開設した。患者やその家族からの後遺症や在宅療養の諸問題、仕事と治療の両立といった相談について、看護師が聞き取りし、内容に応じて専門医や薬剤師らが助言する。



(森重太郎)

支援センターは、九州医療センターで2022年度に行った国のモデル事業による相談窓口の取り組みを継続。県によると、20年の県内の死因は心疾患が2番目、脳疾患が4番目に多く、こうした循環器病は心肺や運動機能の低下といった後遺症があるケースもみられ、入院や通院が終了した後も、状況に応じたきめ細かい支援に取り組む。旧支援センターでの相談は対面が基本で、約半年間の利用は福岡都市圏を中心に173件だった。新センターでは利便性向上のため、23年度中にオンライン面談にも対応する予定という。相談は平日午前9時〜午後4時。無料で事前予約制。支援センターは092-836(5003)5003。

まとめ

1. 福岡県の令和4年度脳卒中・心疾患等総合支援センターモデル事業に関して活動報告
2. 福岡県循環器病対策推進計画として、患者相談支援、県民公開講座、県内の救急救命士、保健師、かかりつけ医への研修等を実施
3. 県内大学と連携し、県内1次脳卒中センター責任者に向けた情報提供、日循総会での公開講座を実施
4. 令和5年度は福岡県循環器病総合支援センターとして県の健康増進課と協働し、相談窓口の横展開のほか、医療-介護の循環器多職種連携研修、就労支援、患者ピアサポートなどにも取り組む予定